

《地域医療連携推進の基本方針》

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 顔の見える連携 | 5. 24時間救急受け入れ体制 |
| 2. 地域連携パスと逆紹介の推進 | 6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進 |
| 3. 紹介患者の迅速予約と優先診療 | 7. 高額医療機器の共同利用推進 |
| 4. PHSによるDr.Direct Call | 8. 地域医療研修センターの利用の推進 |

呼吸器内科の紹介

呼吸器内科長 宇部 健治

平素より連携医療機関各位には、大変お世話になりありがとうございます。今回は呼吸器内科について紹介させていただきます。

まずは当科の歴史についておさらいいたします。当院は、昭和35年に岩手県立中央病院と名称変更しており、その当時は内科、外科、小児科、産婦人科など標榜科は7科のみでした。昭和40年にそれまでのいわゆる大内科から呼吸器科が最初に独立しており、呼吸器科の標榜は東北地方初だったそうです。当時国民病と言われた結核患者が多かったためと思われます。その結核病棟は、平成20年に廃止となり、医療法改正にともない平成29年から呼吸器内科に名称変更し現在に至っており、今年で58年目を迎えます。歴代科長は、吉田司先生、武内健一先生、平野春人先生、守義明先生と続き、私で5代目となります。

当科のモットーは『診断には厳しく、患者さんには限りなく優しく』であり、呼吸器外科、病理診断センターおよび放射線科と連携を密にして医療の質を高める努力をしております。対象疾患は呼吸器疾患全般ですが、肺がん、びまん性肺疾患、感染症などが主な疾患となります。なお、



睡眠時無呼吸症候群の診断や排菌のある肺結核は基本的には扱っておりません。また、気胸と縦隔腫瘍に関しては基本的に呼吸器外科で対応しておりますのでよろしくお願いいたします。

今年度は、岩手医大の体制変更の影響もあり、常勤医4人（専門医2人、専攻医2人）での診療となり、いろいろとご迷惑をおかけすることもあると思いますが、他科および他医療機関との連携をさらに深めながら岩手県民の健康を守るべく努力していく所存ですので今後ともよろしくお願いいたします。

新任医師の紹介

よろしくお願いたします



消化器外科医長

あんどう りょうへい
安藤 涼平



脳神経外科医長

うめざわ くにひこ
梅澤 邦彦



脳神経外科医長

かじたに たくみ
梶谷 卓未



泌尿器科医長

うすい よしたか
薄 善孝



泌尿器科医長

ひさの みずき
久野 瑞貴



小児科医長

ちば さとこ
千葉 智子



糖尿病・内分泌内科医長

いつつ たくま
井筒 琢磨



整形外科医長

えとう としみつ
衛藤 俊光



整形外科医長

あべ たかひさ
阿部 高久



リハビリテーション科医長

つづき けいた
都築 圭太



麻酔科医長

なかつま ゆうた
中鶴間 優汰



消化器内科医師

ほし ふみひこ
星 史彦



消化器内科医師

やうら しゅんご
矢浦 俊吾



消化器外科医師

おばら ゆうた
小原 優太



内視鏡科医師

おいかわ ともひろ
及川 友博



循環器内科医師

おおた ゆうじ
太田 悠自



循環器内科医師

えもり たけろう
江森 毅郎



循環器内科医師

たなか そうちろう
田中 聡一郎



脳神経内科医師

きよかわ てつろう
清川 哲郎



脳神経内科医師

なかじま さつき
中島 沙月



脳神経外科医師

あいかわ たかし
相川 享



脳神経外科医師

いのうえ かく
井上 学



脳神経外科医師

まちだ てつき
町田 哲樹



呼吸器内科医師

はせがわ しょう
長谷川 祥



呼吸器外科医師

おりやま こう
折山 航



腎臓・リウマチ科医師

かたくら ときお
片倉 世雄



腎臓・リウマチ科医師

きょう てつや
京 哲弥



腎臓・リウマチ科医師

おおうち あつし
大浦 篤



泌尿器科医師

もりくち まりこ
守口 万里子



小児科医師

やまうち わたる
山内 航



小児科医師

きんしょう めぐみ
金正 めぐみ



産婦人科医師

かめい あつこ
亀井 あつこ



産婦人科医師

まくち ゆりの
菊池 悠理乃



総合診療科医師

ちだ きこ
千田 喜子



糖尿病・内分泌内科医師

たかはし あさの
高橋 麻乃



乳腺・内分泌外科医師

いしい けい
石井 京



乳腺・内分泌外科医師

ほし あすか
星 明日香



整形外科医師

こすぎ ゆうき
小杉 勇貴



整形外科医師

ごとう ひろき
後藤 悠樹



整形外科医師

たむら いずみ
田村 泉



形成外科医師

かめい ゆう
亀井 優



皮膚科医師

とばし りさ
土橋 りさ



皮膚科医師

ささき ゆめき
佐々木 夢希



病理診断科医師

いとう ゆうま
伊藤 勇馬



麻酔科医師

はせがわ あさみ
長谷川 麻朱



麻酔科医師

さとう こう
佐藤 航



麻酔科医師

かどぐち なお
門口 奈央



麻酔科医師

おりい さや
折居 紗也

「中央病院糖尿病療養指導チーム」の活動10年を迎えて

2013年に糖尿病専門医を始め、薬剤師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、事務などの糖尿病患者の治療・療養に関わるスタッフで立ち上げた「中央病院糖尿病療養指導チーム」は今年で10年の節目を迎えました。これまで、地域の糖尿病患者さんに関わるスタッフを対象とした「糖尿病ネットワーク勉強会」や患者さん向けの勉強会の開催、毎年11月には「世界糖尿病デー」に合わせて糖尿病の啓蒙活動のイベントも行っています。

世界糖尿病デーのイベントでは、糖尿病を広く皆様に理解してもらえよう、資料の提供や清涼飲料水に含まれる砂糖の量を実際に展示したり、正面玄関前をブルーにライトアップするなど様々なイベントを開催してきました。今年も11月に開催予定で毎年好評をいただいていますので近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

また、チーム活動の柱となっている「糖尿病ネットワーク勉強会」は糖尿病治療と療養支援に役立つ内容を取り上げ、これまで26回開催しました。地域の近隣病院・クリニック・老人保健施設、居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション、地域包括センターの方々にご参加いただき、意見交換・情報交換の場にもなっています。2019年度半ばから新型コロナウイルスの感染拡大を受け、集合型の勉強会が中止されていましたが、2021年度から勉強会に代わり「糖尿病ネットワーク通信」を発刊し、糖尿病の治療・療養に関する内容や、世界糖尿病デーの活動報告、皆様からお寄せ

いただいた質問にQ&Aでお答えする形で情報発信しながら活動を続けてきました。「糖尿病ネットワーク通信」のバックナンバーは当院のホームページから閲覧が可能ですのでご利用下さい。

(<https://chuo-hp.jp/shinryoka/tounai/tounet/>)

このたび、7月に「糖尿病ネットワーク勉強会」を再開することが決定しました。今回の内容は、コロナ禍に変化した治療や薬剤について最新情報をお伝えする予定です。今後も継続して開催する予定で、詳細については連携室だよりのほか、医師会会報や当院のホームページにてお知らせします。事前予約なしでどなたでもご参加いただけますので、この機会にぜひ他施設・多職種の方々との交流を深め意見交換の場としてご参加いただき、糖尿病治療・療養支援に活かしていただければと思います。

これからも糖尿病療養指導の向上に向けチームで尽力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

糖尿病看護認定看護師 高橋 雅代



INFORMATION

第27回 糖尿病ネットワーク勉強会を開催いたします

- 内 容 コロナ禍に変化した糖尿病治療における最新情報について
- 日 時 令和5年7月13日(木) 19時～20時
- 会 場 岩手県立中央病院 4階 大ホール
- 対象者 医療従事者、糖尿病患者に関わる介護事業者など

参加費無料／事前申込不要／当日は直接会場へお越しください
多数のご参加をお待ちしております。

